市政ニュース

皆さんの汗で　町をきれいに
6月7日は南国市一斉清掃の日

今年も六月七日（日）に市内の一斉清掃を行います。

毎日出される「ゴミ」は大きな社会問題となっています。環境はゴミによって少しずつ破壊され生活環境が徐々に失われつつあります。

六月を環境月間と定め、全国でさまざまな美化事業が実施されています。去年の一斉清掃では約七千人が参加、二トントラック五十台分のごみが集められました。

市民の手で、ポタルを守る運動や河川を美化していく運動が盛んになっていて、徐々にではありますが、環境への関心が高まってきています。

市民の皆さんのご協力と各種団体の参加のもとに、自然豊かな環境のまち「南国市」を作りましょう。

なお、当日には家庭のゴミ、庭木、雑草などは絶対出さないようお願いします。

※お問い合わせは生活環境課（☎市役所内線341・342）まで

毎年たくさんの市民が参加して

ジャンボタニシから稲を守ろう！

ジャンボタニシをご存知ですか。

この貝自体は知らなくても、卵を見た事のある方は多いのではないでしょうか。水路の側壁に産み付けられているピンク色の塊がジャンボタニシの卵塊なのです。

この貝の正式名称はスクミリンゴガイ。一般的にジャンボタニシと呼ばれ、昭和五十五年ごろから食用目的で台湾等から輸入され、養殖が行われてきましたが、食味が日本人の嗜好に適さずほとんどの業者が養殖を中止。そのため放棄された貝が野生化し、稲を中心とした農作物に被害を与えるようになりました。

現在、ジャンボタニシによる水稲の食害が各地域で発生しています。この貝は市南部地域を中心に生息しています。

繁殖力が非常に旺盛であるため、年々生息地域を広げ、それに伴い食害の発生面積も急増しており、被害を防ぐには早期対策が大切になります。早目早目に手を打って大事な稲を守りましょう。

被害防止対策

①個人的に対応するのでなく、地域全体が一つになって行動する。

②1週間に1度、水田、水路を見回り、赤色の卵塊は水中に落とし、灰色っぽい卵塊は押しつぶすなどして完全に殺卵する。

③田植後2週間くらいは、できる限り浅水にする。

④貝は水路や隣接する水田から侵入してくるので、水の取入口・排水口に目の細かい網を張る。

⑤冬季に用水路を徹底してさらえる。

⑥冬期に田を乾燥させ、耕うんを行う。

※この貝を採取するときに、必ずゴム手袋等をしてください。また、作業終了後は必ず石けんで手を洗ってください。

薬剤による防除

本田施用＝キタジンP粒剤10a当たり4～5kg、バダン粒剤10a当たり4kgを2回まで。

ジャンボタニシの生態

産卵

4月から開始し、5月下旬から11月上旬まで。ピンクの卵塊（50～700卵）を植物の茎や水路壁などに生み付ける。年間約10回。

発育

ふ化した幼貝はすぐ水面に落下する。ふ化から50～60日で成貝となり産卵するようになる。

越冬

水田等の土中や用排水路で越冬する。乾燥状態では越冬しにくい。土中での越冬は、殻が土に隠れる程度がもっとも多く、地下1cm位までである。

守られていますか、あなたの人権

六月一日は人権擁護委員の日です。

より幸福な人生を送るために、人間として持っている当然の権利『人権』。昭和二十三年、人権擁護委員制度が設けられ、国民の基本的人権を擁護し見守る、民間人による人権の番人の機関が誕生しました。

しかし、現実にはいじめや体罰、同和問題、女性や障害者、高齢者に対する人権侵害などが起こっています。

人権擁護委員は市長からの推薦で法務大臣が委嘱。市内には八人の委員（上の表）がおり、年間を通じて無料で相談にのってくれます。また、電話での相談も受け付けています。

人権擁護委員の一人である橋田恵一さんによると、最近では相続関係の相談や隣人とのトラブルについての相談が多く、月に3～4人が相談にみえられるとのこと。

「近所の人からイヤガラセを受けている、誰かも分かっているがどうしたらいいだろう。」から「遺書の書き方はどうすればいいのか」といったものまで、悩みごとを抱えていても、どこに相談すればいいのか意外と市民は知らないのだそうです。

人権委員が直接問題を解決するのではなく、どこにどういう方法で相談すればよいかをアドバイスしてくれます。

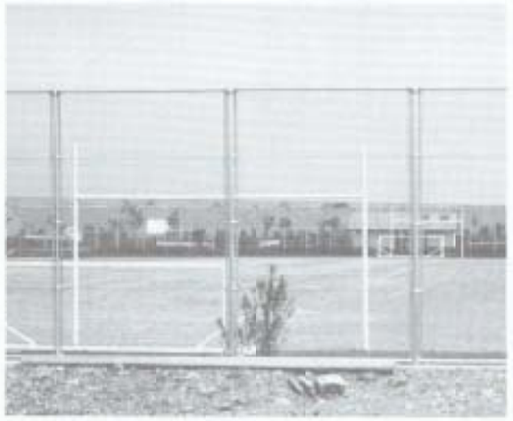
また、毎月二十日（土、日の場合は翌月曜日）には、社会福祉センターでも相談を受け付けています。

「プライバシーは必ず守ります。早目早目の相談を」と橋田さん。

人権擁護委員

橋田恵一	片山970番地	65－8373
二宮純夫	下末松293	64－3902
田内稔治	国分952番地1	62－1438
沢村良	久礼田1085番地の1	62－0313
久万富士	久枝乙501番地1	65－1258
内海春子	大埔甲1305番地	64－4063
中橋千秋	稲生2417番地	65－0022
東村達夫	立田640番地の1	63－2079

空港みどりの広場に



子供のサッカー・ラグビー場

県は、昭和六十三年度から高知空港の周辺の整備を行っています。テニス場やトリム広場、ゲートボール場などが既に完成。

子供からお年寄りまで楽しめる施設があるのに加え、発行機を近くから見れることから、休日には子供連れなどたくさんの人出でにぎわい、新たな行楽地となっています。

そして、本年四月には少年サッカーや少年ラグビーができる多目的広場もオープン。

小学生の公式試合は出来ますが、ボールが高くあがってはいけないなどの規制から、残念なことに大人には使用することは出来ません。

既にある施設でも、テニス場の人気はニャ。たくさんの方が利用していますが、ゲートボール場はあまり知られていないからか、利用状況は今ひとつ。県下でも珍しい人工芝のコートも一面あり、積極的に利用して欲しいとのことです。

県の事業も、この多目的広場の整備でほぼ完了。あと、芝生広場を残すのみとなっています。

また、隣接する区域には国が、エアーフロント・オアシス整備事業として、子供たちが水と遊ぶことのできる噴水のある広場（せせらぎ広場）を作っています。

利用したい個人や団体は、**南国市体育協会**（南国市民体育館☎63－3498）まで申し込みください。全ての施設の使用料は無料です。

また、各所にゴミ箱を設置していますが、たくさんの人出のため、処理しきれずに散乱していることもしばしば。利用される方はごみの持ち帰りなど、協力をお願いします。

第12回南国市民学校

《龍馬とジョン万次郎》

海へ　未来へ

本日は、南国市を勇気づける話をしましょう。

ご存じのとおり江戸時代は鎖国をしていたため、江戸がすべての中心であるとの考え方が支配的でした。

しかし、土佐には山を背にして外洋に面している地形からか、漠然と海の向こうにはとてもすばらしいところがあるのではという憧憬の気持が、昔から皆にあったようです。

幕末の激動期に、時代を切り拓いた坂本龍馬とジョン万次郎、この二人が同じ土佐から生まれたのは、決して偶然ではないと思えます。

ジョン万次郎の生涯をたどってみますと、十四歳のときに漂流します。そして、アメリカの捕鯨船に助けられますが、仲間はハワイで船を下りるのに、彼一人が、アメリカ本土までついていきます。

これは驚くべきことだといえます。当時アメリカといえば、まだ西海岸が開拓される以前ですので、南アメリカ大陸の南端をまわって行かなければならない、遥か彼方でした。

逆境の中でも、常に前向きに生きようとしていた万次郎の生き方を感じます。そして、フェアヘーブンで三年間勉強に励みます。

寺小屋にも行ったことのない万次郎でしたが、とても優秀な成績を修めます。日本では昔から、文化や知識にたいして高い評価をしてきた歴史的背景があるからでしょう。

そして、再び捕鯨船に乗り、世界の海を航海してまわります。その間いろいろな知識を得るのですが、その後、ゴールドラッシュに沸くカリフォルニアに行き、金鉱掘りで一山当てて、財産を作ります。

その頃から、望郷の念を押さえることができなったようでハワイに寄って二人の仲間を誘うと、帰郷すべく、琉球に上陸しました。

こうして日本に帰ってきます。当時幕府は、アヘン戦争などヨーロッパ諸国の動きにとても神経質になっていましたので、外国に長くいたので、打ち首になる可能性も高かったのです。帰るのにも大変な決意がいりました。

薩摩藩や幕府での様々な取り調べの後、ようやく土佐に帰ることができました。

しかし、帰り着いてゆっくりする間もなく、ペリーがやってきます。外国のことについて豊な知識を持つ万次郎を、幕府は必要とします。そして幕府に仕えた万次郎は、勝海舟などと一緒に渡米し、日本の夜明けに大きく貢献します。

坂本龍馬ですが、万次郎が土佐に帰ったとき、出迎えの群衆の中に十八歳の龍馬がいたのではないでしょうか。翌年、万次郎の後を追うように江戸修業に行くことになります。

二人が直接会った記録はありませんが、龍馬はジョン万次郎の外国での見聞を、絵師の河田小龍をとおして間接的ですが聞いています。

脱藩してから暗殺されるまでの五年間、目まぐるしく動き回ります。そして、歴史的にもきわめてまれな無血革命である、大政奉還の基礎を作りました。

そこにジョン万次郎の影響が働いていたのは間違いないと思います。

さて、話を現在に戻します。高知新港がまもなく開港します。海の向こうへの憧憬が現実のものとして実現されるチャンスがめぐってきたのです。そして、この南国市からこの二人のような人間が生まれてくるような予感がしています。

講師のプロフィール

永国淳哉（ながくにじゅんや）
昭和１４年高知市に生まれる。
現在、学校法人日米学院・理事長兼校長。高知大理学部講師。
テレビ高知「ナイスU」などにレギュラー出演。
坂本龍馬やジョン万次郎に関する著書多数。